

「コウノトリ育むお米」で日本酒

野生復帰応援 今年も寄付

木下酒造 収益一部、豊岡市に

コウノトリのエサ場ともなる水田で無農薬栽培された酒米で日本酒を造っている木下酒造(京都府京丹後市久美浜町)が17日、売り上げの一部31万7250円を豊岡市に寄付した。同社の寄付は6年連続で、累計額は127万6100円に上った。杜氏で英国出身のフィリップ・ハーパーさん(49)が市役所を訪れ、「コウノトリの野生復帰に役立てて」と中貝宗治市長に寄付金を手渡した。

木下酒造は2009年から、無農薬の「コウノトリ育む農法」で栽培した酒米「五百万石」を使って醸造。ラベルにコウノトリを描いた純米吟醸酒と生酛純米酒の2種類について、売り上げの一部(1・8割)は100円、720ミリ・びんは50円)を、豊岡市のコウノトリ基金に寄付してきた。

市によると、無農薬・減農薬の「コウノトリ育むお米」で酒造りをしている蔵元は、ほかにも7社あるという。この日、中貝市長は



中貝市長にコウノトリラベルの日本酒と寄付金を渡すハーパーさん(豊岡市役所で)

豪雨「元の地域で生活」7割意向

朝来市は、学校を卒業して社会人となり市外に遠距離通勤する場合、通勤費用を補助する人口減少対策を来春から実施する。若者の多くが高校卒業と同時に市外に流出する状況に歯止めをかけ、定住を促す。市から1時間30分圏域を通勤圏として定住施策を進める市の第2次総合計画に基づいて制度を設ける。市内に住む新卒者を対象に、公共交通機関のほかマイカー通勤も対象にする方向で検討する。金額は距離に応じて決め、上限を設ける方針。補助率や申請方法、対象の詳しい要件は夏頃までに詰める。制度設計や周

市外90分圏若者に通勤費

人口減対策 朝来市、来春から補助

知の予算として2015年度に20万円を計上した。市によると、同様の制度は石川県穴水町など全国各地で導入しているが、但馬地域では初となる。

住宅全焼1人死亡

大屋

16日午後8時5分頃、養父市大屋町大杉、無職正垣芳信さん(78)方から出火、木造2階建て住宅を全焼した。焼け跡の1階居間付近から遺体が見つかり、養父署は正垣さんとみて確認を



急いでいる。発表では、正人暮らして、口った。

近所の男性汗という声を聞くと、建物から家いた。消火しようの勢いが強られなかったた。



拠点の巣で孵化したひな(朝来市山東町で) 県立コウノトリの郷公園提供

ようになったといい、ハーパーさんは「迫力があって格好いい鳥。農家と蔵元と消費者が、一緒になって野生復帰を応援していると思う」と感動する」と話した。

山東の放鳥施設 3年連続のひな

朝来市山東町三保のコウノトリ放鳥拠点施設で16日、ひな1羽の孵化を確認したと、県立コウノトリの

郷公園(豊岡市)に同施設で、一方、養父市、伊佐地区放鳥拠点、繁殖中の別のペアの卵を抱かせるべく、伊佐では3日卵があったが、卵だった。この子を持つ子孫がいるため、遺保つため、た日頃に孵化する。

三保の施設。卵。昨年はずっと子孫が死ぬ数が減ったた巣立ちまで育調なら、6月にかけて放鳥し。

交通安全 成田山

大正山成田山認可(県内唯一) 西脇市小坂町

うち82世帯(85・4%)から回答を得た。今後の居住場所についての考えや、理

「建て替え、購入」世帯に新しい家の場所を尋ねると、7世帯が「今の敷地内

な規制を設けてどう考えるかには、「災害